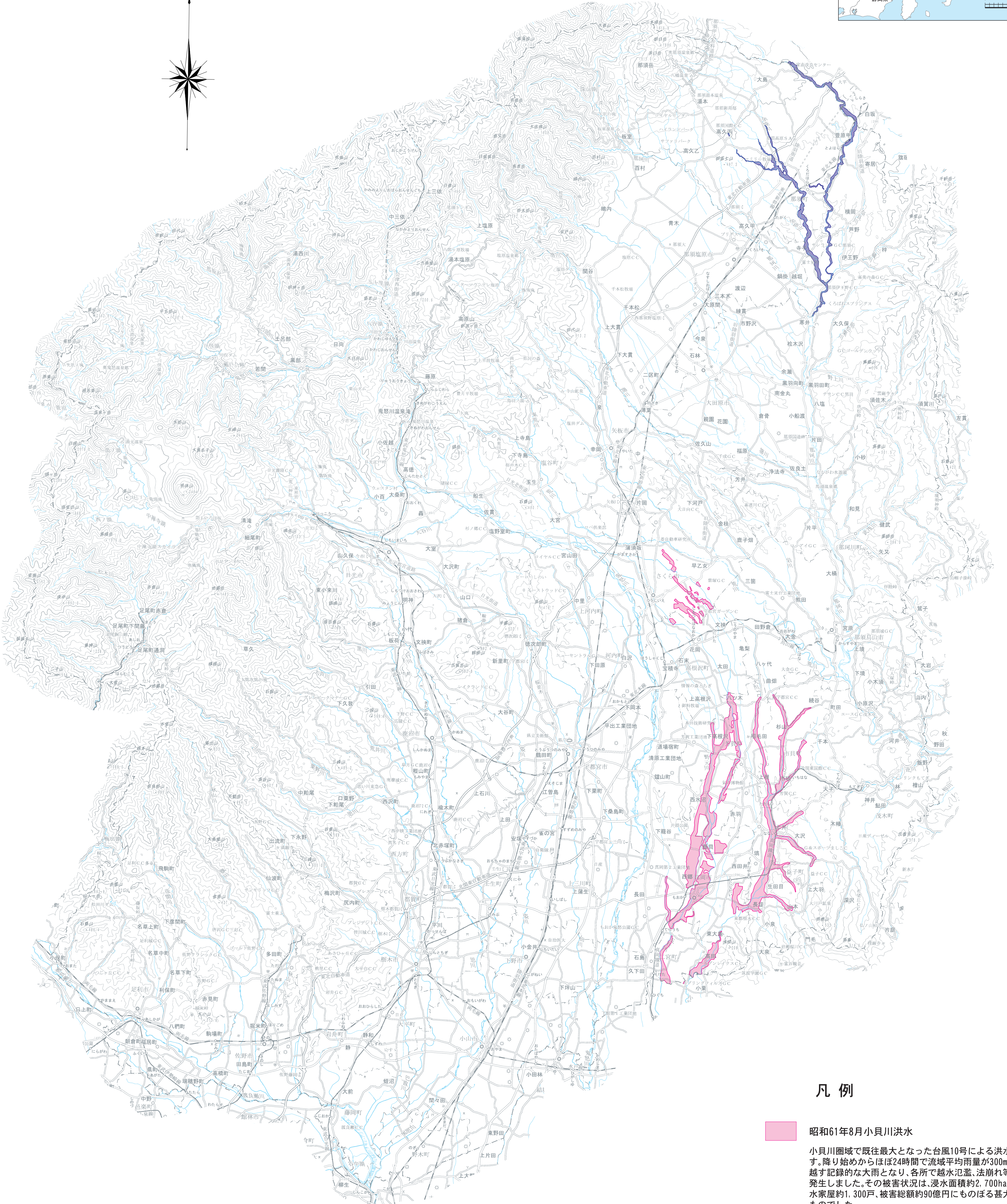


土地保全図

(災害履歴図)

栃木県



凡 例

昭和61年8月小貝川洪水

小貝川圏域で既往最大となった台風10号による洪水です。降り始めからほぼ24時間で流域平均雨量が300mmを越す記録的な大雨となり、各所で越水氾濫、法崩れ等が発生しました。その被害状況は、浸水面積約2,700ha、浸水家屋約1,300戸、被害総額約90億円にものぼる甚大なものでした。

平成10年8月余笹川洪水

東北地方に停滞していた前線に向かって太平洋高気圧の周りを回る暖かく湿った空気が流れ込み、地形の影響も加わって栃木県から福島県にかけて記録的な大雨となりました。特に那須町では27日の日降水量が607^{mm}、26日から31日までの合計で1254^{mm}にも達しました。この豪雨で那珂川支流の余笹川などが氾濫し、死者・行方不明6名、家屋の全壊46棟など大きな災害となりました。

1:200,000

